

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務V			科目コード	11053001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	前期	36	2	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、面接対策、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 					
評価項目	期末試験 65%、出欠席 5%、提出物 30%					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務 I、II、III、IV					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語（語彙・文法・読解） 2) 数学（数的処理・論理） 3) 英語（語彙・文法・読解） 4) 地理・歴史・公民 5) 時事問題 6) ビジネスマナー 7) 卒業研究準備 8) 学科運営 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	情報処理技術者IV			科目コード	11020201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	前期	93	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果 (20%) 本試験結果 (75%) 出席率 (5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー			情報処理技術者 I～Ⅲ、V		
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験 1 5 弱点補強 6 模擬試験 2 7 総まとめ 8 決起会					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	サーバサイドIV			科目コード	11083901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	JAVA を用いた WEB アプリケーション構築について、フレームワークを用いた開発について理解する。					
到達目標	フレームワーク導入のメリットについて理解し、状況に応じて適切なフレームワークの選定ができる知識を身につける。					
評価項目	模擬試験結果 (20%) 本試験結果 (75%) 出席率 (5%)					
評価基準	Spring フレームワークの基本的な処理と記述方法の理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5年					
テキスト・参考文献	「Spring Framework 超入門 やさしくわかる Web アプリ開発」技術評論社					
関連科目	プログラミング I プログラミング II サーバーサイド I サーバーサイド II					
授業計画	1 Spring Framework について 2 Spring Framework のコア機能 (DI) 3 Spring Framework のコア機能 (AOP) 4 テンプレートエンジン (Thymeleaf) 5 バリデーション機能 6 たプログラムを作成しよう 7 アプリケーション開発演習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	PBL 実践			科目コード	11085401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	100	4	無
授業の概要・目的	クロスプラットフォームのアプリケーションを開発する。身近な課題を IT で解決することを目的とし、グループ毎に題材を決めてプロジェクト開発を行う。					
到達目標	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SE として求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に課題解決にむけて取り組めるようになること。					
評価項目	制作物 (70%) プレゼンテーション (25%) 出席率 (5%)					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	システム開発 開発技術 プログラミング I プログラミング II フロントエンド I フロントエンド II					
授業計画	開発実習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	AI 概論			科目コード	11082001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	AI に関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。AI に関する基礎的な知識に加えて基礎数学の分野も網羅する。					
到達目標	AI に関する基礎的な知識、基礎数学、AI 利用アイデアの検討方法について身につける。 また、AI 検定の合格を目指す					
評価項目	期末試験 55% 検定試験 40% 出欠席 5%					
評価基準	AI に関する基本的な用語を理解しているか確認する筆記試験を実施する。 また、AI 検定の結果も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4 年					
テキスト・参考文献	「AI リテラシー講座」 サーティファイ					
関連科目						
授業計画	インTRODクシヨN 1 AI をめぐる動向 2 機械学習とは 3 モデルの性能評価 4 学習データとテストデータ 5 分類問題 6 線形回帰問題 7 クラスタリング問題 8 演習課題 9 ニューラルネットワーク 10 AI 利用アイデアの創出					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	クラウドコンピューティング			科目コード	11082701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	近年システム開発において主流になっている、クラウド環境の活用技術、特に AWS について、用語の理解と活用的手段を理解することを目的とする。					
到達目標	EC2、RDS などの主要な AWS の機能に関する専門用語と関連知識を習得しクラウド開発における仕組みを理解する。また、演習を通じてクラウド環境を用いたアプリケーション開発の技術を身に着ける。					
評価項目	期末試験 60% 演習 35% 出席率 5%					
評価基準	主要な AWS の機能に関する専門用語と関連知識を習得しクラウド開発における仕組みを理解できているか、期末試験により確認し、評価する。授業中の演習課題提出も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaS システムの開発 8 年					
テキスト・参考文献	「ゼロからわかる Amazon Web Services 超入門」技術評論社					
関連科目	開発技術 I 開発技術 II					
授業計画	1：Amazon Web Services とは何か 2：AWS とは 3：AWS に Web サイトを公開する 4：LEMP 環境で WordPress 実行 5：データベースを活用 6：固定 IP アドレスとドメイン名 7：安全な通信					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネスプランニング			科目コード	11082901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3年次	前期	30	2	有
授業の概要・目的	ユーザ視点でのサービスのニーズ、課題の本質を発見、理解する力を身につける。新規ビジネスモデル設計のプロセスとPDCAを理解し実践する。					
到達目標	既存のビジネスモデルを研究した上で、ビジネスモデルキャンバスを用いて、ITに限らない新たなビジネスモデルを模索する課題発見型の授業展開を行う。					
評価項目	ビジネスプランプレゼンテーション 50% 期末試験：45% 出欠席 5%					
評価基準	チームでのプレゼン完成度、及びそこに至るチーム内での貢献度。 期末試験は論述式とし、評価に加える。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	プレゼンテーション技法					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ視点の重要性とニーズ発見の基礎 2. ペルソナとカスタマージャーニーの作成 3. 課題の本質を捉えるリサーチ手法 4. 既存ビジネスモデルの分析とケーススタディ 5. ビジネスモデルキャンバスの構造と活用法 6. 仮説立案と価値提案の設計 7. 新規ビジネスモデルの構想と検証 8. PDCAによる改善とフィードバックの活用 9. プレゼンテーションに向けたプランのまとめ 10. ビジネスモデルの発表と相互フィードバック 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務VI			科目コード	11053101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p>					
到達目標	就職活動に向けて、一般常識やSPI対策などを学習する。社会に出るために必要な知識を広く身につけるとともに、道德観、倫理観を身につける。					
評価項目	期末試験 95%、出欠席 5%					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務 I、II、III、IV、V					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語（語彙・文法・読解） 2) 数学（数的処理・論理） 3) 英語（語彙・文法・読解） 4) 地理・歴史・公民 5) 時事問題 6) ビジネスマナー 7) 卒業研究準備 8) 学科運営 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	情報処理技術者V			科目コード	11020801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	後期	88	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	コンピュータ概論 情報処理技術者Ⅰ～Ⅳ ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験 1 5 弱点補強 6 模擬試験 2 7 総まとめ 8 決起会					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	卒業研究 I			科目コード	11070301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	50	3	有
授業の概要・目的	3 年間の集大成として、今まで学習したシステム開発に関する知識、スキルを活用し、テーマに沿ったシステムの企画提案及び開発を実施する。					
到達目標	企画～開発、プレゼンテーションまでをチームで協力して納期までに完成させる。教師は成果物のレビューやアドバイスを行うが、基本的には学生が主体的に開発を完遂させることを求める。					
評価項目	期末試験 50% プレゼンテーション 25% レポート 20% 出欠席 5%					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	PBL I、II 卒業研究 II					
授業計画	開発実習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ユーザマネジメント			科目コード	11084201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	IT を活用した現代ビジネスにおいて、顧客・ユーザとの関係構築や信頼維持の重要性を理解する。SNS や CRM、カスタマーサポートなどの IT ツールを通じて、効率的かつ効果的なユーザマネジメントを実現する知識と考え方を習得する。					
到達目標	ユーザ満足度向上やリピーター獲得を目指した IT 活用の手法を理解する。顧客の行動分析やニーズ把握、フィードバックの活用、炎上対策などを学び、実務で役立つユーザマネジメント能力を身につける。					
評価項目	期末試験 60% レポート 35% 出欠席 5%					
評価基準	課題提出や発表、小テスト、期末試験の結果に基づき総合的に評価する。IT ツールの活用力、ユーザ視点の思考、分析結果を基にした提案力、そしてチームでの協働姿勢などを重視して評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス 4 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	ビジネスプランニング 卒業研究 II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザマネジメントの基礎と重要性 2. SNS とロコミ時代の信頼構築と炎上対策 3. 顧客行動分析とパーソナライズの考え方 4. CRM とカスタマーサポートツールの活用 5. フィードバックの収集・分析と改善プロセス 6. 実践演習：ユーザ視点でのサービス設計と提案 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	卒業研究 II			科目コード	11070401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	163	4	有
授業の概要・目的	3 年間の集大成として、今まで学習したシステム開発に関する知識、スキルを活用し、他学科や企業を巻き込んだテーマに沿ったシステムの企画提案及び開発を実施する。					
到達目標	企画～開発、プレゼンテーションまでをチームで協力して納期までに完成させる。教師は成果物のレビューやアドバイスを行うが、基本的には学生が主体的に開発を完遂させることを求める。					
評価項目	期末試験 50% プレゼンテーション 25% レポート 20% 出欠席 5%					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	PBL I、II 卒業研究 I					
授業計画	開発実習					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ペン字上級			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。					
到達目標	書き込み式のテキストを使用。 行書のポイント、ルールの解説。 反復練習したものを個別指導により上達をはかる。日常生活に役立つ課題で、楽しく学び続けることを期待する。					
評価項目	一筆箋 50%、封筒 10%、ハガキ表 10%、ハガキ裏 10%、のし袋（筆ペン） 10%、出欠席 5% 感想 5%					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり 30 年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	「大人字にかわる ペン字練習帳」新星出版社					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美しい行書のルール 2. 漢字の正しいくずし方（部首別） 3. ひらがなのリズム 4. ひらがなの連綿（つづけ方） 5. 封筒、ハガキの表書き 6. はがきの裏（年賀状、暑中見舞い、メッセージカード） 7. 一筆箋 8. のし袋（筆ペン） 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジネス英語			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、依頼表現、電話取次を簡単な表現で出来るようになる。 ・メールで頻出の表現を使えるようになる。 					
評価項目	期末試験 90%、授業態度 5%、出席率 5%					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	佐藤 眞佐子			非常勤		
実務経験者による授業	民放局アナウンサー8年。全国各地で高校生に英語英会話指導 20年以上。英語スピーチコンテスト等での日英司会、トーストマスターズクラブでの日英スピーチ中四国大会優勝、全国大会ファイナリスト。日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート資格を活かし、仏・豪ワイナリー訪問多数。トーストマスターズクラブやワイナリー訪問を通じた異文化コミュニケーション経験も豊富。					
テキスト・参考文献	「キクタン英会話（オフィス編）」アルク出版社					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本フレーズ 2. 基本フレーズ 3. あいさつ 4. 始業前 5. 日常業務 6. 備品・機器 7. 休憩 8. 来客・面会 9. 電話 10. 会議 11. 予定 12. アフター5 13. ロールプレイ演習 14. ロールプレイ演習 15. 電子メール 16. 試験対策・重要表現 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	エクセル上級			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	Excel のスキルをあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PCスキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。					
到達目標	関数を使った集計や分析、ピボットテーブルやマクロなど Excel の機能を活かした資料作成能力を身に着ける。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 敬輔			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Excel 基礎知識の確認 2. Excel 基礎知識の復習 3. ショートカットキーの活用 4. 関数の活用 (vlookup. sumif) 5. 機能の紹介(マクロ・ピボットテーブル) 6. 練習問題 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	医療事務			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。					
到達目標	医療保険制度の仕組みを理解する。 医療事務の業務内容を理解する。 簡単な医療費の計算を習得する。					
評価項目	期末試験 95%、出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	矢ヶ崎 忍			常勤		
実務経験者による授業	医療機関にて約 8 年間、7 医事課に所属し各外来・入院受付、会計、診療報酬請求業務、クレーク業務を担当					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関の概要 2. 医療機関の仕事 3. 医療費の計算 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	RPA 実習			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	作業自動化ツールである RPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。					
到達目標	事務作業の分析を行い、Power Automate Desktop に手順を登録して、実際に作業の自動化を行えるまでのスキルをつける。					
評価項目	レポート (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%) で評価をつける。					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境準備 業務自動化のメリットを考える 2. レコーダ機能を使ったフロー作成 3. EXCEL 作業を自動化 4. Web フォームへの自動化 5. 業務シーン別のテクニック理解 6. 自動化業務の作成、発表 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	情報リテラシー			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	業務で役立つ Windows の便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識や AI の活用方法などについて学ぶ。					
到達目標	社会人になるにあたり教養、たしなみ、判断力、理解力等を身につける。					
評価項目	期末試験(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊、岡本 和也、近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	1. Winidows の操作 2. 情報セキュリティ 3. AI の活用					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	データマーケティング			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excel を活用した分析手法についても修得する。					
到達目標	データを基に読み込んだ情報についてまとめて発表することができる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治、田中 光			常勤		
実務経験者による授業	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリテ 2. ビッグデータとは 3. データの活用 4. グラフの作成 5. その他データの活用と各業界の関連 6. マーケティングの基礎・活用 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ファイナンシャルプランナー			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。					
到達目標	学んだ知識を第三者に伝えることができる。用語が理解できる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤野 流光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプラン 2. リスクマネジメント 3. 金融資産 4. タックスプランニング 5. 不動産 6. 相続 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	一般知能			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。					
到達目標	いくつかの条件を整理して、答えを導き出していくという論理的思考力を身につけることが目標である。					
評価項目	期末試験 60%、確認テスト 35%、出席率 5%					
評価基準	確認テスト：各授業で行われる単元別確認テストで理解度をはかる。期末試験：数的処理能力を問う科目試験を行う。その試験結果により判定し、評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	武下 浩史			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暗号 2. 速さ 3. 図形問題 4. 対応関係 5. 食塩水 6. 勝敗 7. うそつき 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	フラワーアレンジメント			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。					
到達目標	花への興味を深め、毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し植物の知識を身につける。					
評価項目	作品(90%)、授業態度(5%)、出席率(5%)					
評価基準	※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	永宗 教子			非常勤		
実務経験者による授業	フラワーアレンジメント実務30年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 植物の扱い方 2. 吸水フォーム 3. テーブルアレンジ 4. 復習 5. ブートニア 6. ミニブーケ 7. リース 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ゲームプログラミング			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける。					
到達目標	一見難しいプログラミングなども諦めずコツコツと積み上げていくことで完了させられることを体感する。					
評価項目	課題提出(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	宇野 光司			常勤		
実務経験者による授業	通販、介護、銀行等のシステム開発経験を活かし、学生が情報処理に関する基礎的知識を習得できるよう、講義を行う。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unity の概要 2. プログラミングとアルゴリズム 3. プログラミング環境構築 4. プログラミング実習 5. プログラミング改変 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	広告映像			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	会社の広報 SNS などに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。					
到達目標	効果的な動画構成を理解して制作できるようになる。					
評価項目	課題提出 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	赤木 沙英子			常勤		
実務経験者による授業	CM 企画・制作 11 年 ディレクター 9 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動画制作の基本的な考え方 2. 動画制作の基本操作、 3. 課題：ドラマカット① 4. 課題：ドラマカット② 5. 課題：クラス動画 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	ビジュアルデザイン			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	デザインアプリ Figma を使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。					
到達目標	情報を適切に伝えるための視覚表現力を身につける。					
評価項目	課題提出 (95%)、出欠席 (5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	太田 真行			常勤		
実務経験者による授業	広告ディレクター：3年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商業デザインの基本的な考え方 2. デザインアプリの基本操作 3. 課題：名刺 4. 課題：チラシ 5. 課題：ポスター 					

情報スペシャリスト学科 2025 年度

科目名	世界情勢			科目コード	11090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	3年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付ける					
到達目標	ワークショップの中で異文化を理解・共感する姿勢を身につけ、世界の問題を自分ごととしてとらえられる力を養いながら、自身の意見をもちそれを発信できるようになる。					
評価項目	期末レポート 45%、課題レポート 50%、出欠席 5%					
評価基準	各授業の課題レポートと期末レポートにより総合的に評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の言葉で「こんにちは」 2. 100人の村 3. あなたの夢は何ですか、私の夢は大人になるまで生きることです 4. 世界の問題 5. 世界の問題② 					

